

4 学校教育計画

項目	目標・方針及び計画	
(1) 学習活動	目標	<p>①教育課程編成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流科として、国際社会で健やかにたくましく生き抜く人間としての基礎・基本を確実に習得できるよう、新学習指導要領に対応したカリキュラムマネジメントを実施する。 <p>②教科指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と学習意欲の喚起により個々の学力の伸長を図る。 <p>③国際理解教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的な視野に立って物事を考えることができる国際人としての教養を育む。 <p>④総合的な探究の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の特色である「国際理解教育」を柱として、自ら学び、自ら考える力、調査・探究する姿勢・能力、思考力を育成する。情報の収集・発信を通して、まとめる力や発表する力をつけさせる。
	計画	<p>①「中国語」「韓国語」「ロシア語」の科目を設置し、語学教育並びに国際理解教育の充実を図る。</p> <p>②基礎・基本を定着させ学習意欲を喚起するために、教員相互による授業研究を推進し、ICT機器の積極的な活用や分かりやすく、生徒の意欲や能力を引き出す授業（主体的・対話的で深い学び）の実施に努める。</p> <p>③英語及び第2外国語（中国語、韓国語、ロシア語）の語学教育に力点を置く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業やS E Tプログラムの中で、基本的な英語のフォームの定着を図り、生徒の英語力、コミュニケーション能力の伸長を図る。 ・中国、韓国、ロシア、米国の友好校との相互交流（オンライン交流、海外研修等）を通して、多様な文化や価値観を体験し、異文化を尊重し国際協力に貢献しようとする態度を育成する。 <p>④第1学年では、中国語、韓国語、ロシア語の基礎と各国の文化・生活習慣について学習し、第2学年からの第2外国語の学習の準備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年では、海外での第2外国語の語学研修のための事前学習（調査・探究）を行う。また、将来学ぼうとしていることや就きたい職業をテーマに選び、進路に関する調査を行う。 ・第3学年では、各自の進路目標にあわせてコースを選択し、進路に対する考え方や表現する力を培う。
(2) 学校生活	目標	<p>①生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自律」「鍛錬」「信愛」の校訓を高揚させ、基本的な生活習慣を継続育成することによって、あたりまえのことがあたりまえにできる「スーパー モラル ハイスクール」を目指す。 <p>②保健指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康の保持増進に必要な知識や技術の習得を通して、健康で安全な生活を送るための態度を育成する。 ・安全で安心な学習環境の構築に努める。 <p>③教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の問題を抱えている生徒を早期に発見し、相談体制を整え支援する。
	計画	<p>① 全職員が連携して生徒理解に努め、家庭や地域社会と密接な連携をとりながら指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の定着については、授業や学校行事、部活動など学校生活のあらゆる機会を通じて粘り強く指導する。 <p>②アンケートを元に清掃活動の取組状況を知り校内美化に向けて改善を図ったり、ボランティア活動を通して校外美化の意識を高めたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内外の環境美化と学習環境の整備に努める。 <p>③定期健康診断や各種調査の結果をもとに、生徒の実態を把握し、健康管理や心の悩みなどについて適切に援助・指導をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員で生徒理解に努め教育相談体制を充実するとともに、個別の支援計画の充実を図る。 ・S C、 S S W等の助言をもとに、家庭と連携しながら生徒の支援に努める。

(3)	進路支援 重点3①②	目 標	<p>進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が自らの在り方生き方を考え、能力や資質を伸ばし、個に応じた進路選択ができるよう指導する。
(4)	特別活動 重点4① 重点4②	目 標	<p>①特別活動指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた人格の陶冶を目指す。 生徒の個性を伸長させるとともに、集団の一員としての自覚を高め、協力してより良い学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。 地域行事においては、積極的な参加を計画し、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間性の涵養を目的とし、自らの生き方に自信を持ち社会に貢献できる生徒の育成を目指す。併せて、「地域に愛される魅力ある学校」づくりを推進する。 <p>② 読書指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書を通じて、生徒が思索を深め、心豊かで主体的に行動実践できる能力を育てる。
		計 画	<p>①<u>生徒会活動・部活動の活性化を目指し、生徒の自発的・民主的な企画運営を基本に、個性の伸長と自主的・協力的な態度の育成を図る。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校行事では、目標を明確にするとともに、生徒の満足度が高くなるように、教師と生徒が相談して企画運営に努める。 ホームルーム活動では、生徒が学校生活に適応し、より良い人間関係を形成するよう学年が協力して実施する。また、生徒が自主性を發揮し、一人ひとりが積極的に参加できるよう、事前準備や運営等に責任を持たせる等の指導の工夫を行う。 <u>地域行事やボランティア活動では、その活動の意義を明らかにして生徒の参加を奨励し、学校全体で積極的・組織的に推進する。</u> <p>②<u>読書習慣の定着化を推進し、朝読書を実施する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 調べ学習や資料作成をサポートするための図書購入希望調査を実施し、蔵書を充実させる。また、生徒が積極的に活用できるように図書館運営を工夫する。 <u>生徒図書委員会の活動を活発にし、広報活動や図書室講座を充実させる。</u>
(5)	その 他	目 標	<p>① P T Aの行事や研修会等への参加率の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍以降、簡略化してきたP T A活動を再開に向け検討をする。 社会環境の変化により、参加率が低下傾向にある中で、参加しやすい形態の企画や地域連携イベントなどへ参加促進を行ったり、役員負担の軽減を考えたりしながら、情報発信を強化してP T Aの連携を深めていく。 <p>② H Pの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク環境を高めることで、保護者や地域の方々に理解を深めることや、また海外の友好校と交流を活性化させるために効果的に情報の発信を行うことが必要となってきた。特にH Pを通して、本校への関心を高める情報提供を行うようにする。
		計 画	<p>① 学校行事や各種研修会への参加を促し、学校教育に関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> H Pやメールなどを利用し、早期に案内をする。 行事や授業参観、特別活動など幅広く公開できる機会を増やす。 P T Aが参加できる企画を行う。 <p>② H Pの見やすさと早期発信に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> H Pの掲載を多くの教員が取り扱うことができるようにする。